

気象大学校講演会 2026

令和8年11月28日（土）午後

（午前中には学生サークルによる演奏会も開催）

会場：気象大学校講堂

※入場無料。事前の申し込みは不要です。

プログラム



開場　9時00分

午前の部（9時05分～12時00分）

■　学生サークルによる演奏・パフォーマンス

室内楽同好会、軽音楽部、リコーダーアンサンブル、Balloon Beads Books

午後の部（13時00分～17時00分）

■　講演会

13:00～13:10　開会・校長挨拶

13:15～13:55　**「地震の話　―地震は点で無い！？―」**
（気象大学校　下山 利浩 教授）

14:05～14:45　**「下層雲が減って、地球温暖化が加速する！？」**
（気象大学校　川合 秀明 准教授）

14:55～15:35　**「その禁止マーク，ズレてます―見慣れた看板から考える人文学― 」**
（気象大学校　平川 裕己 講師）

15:50～16:50　**特別講演「天気を読む、未来を守る― 天気予報の舞台裏と気象を学ぶ魅力 ―」**
（斉田 季実治 氏（気象予報士、株式会社ヒンメル・コンサルティング 代表取締役））

その他、会場内で展示（気象大学校の紹介）もございます。
皆様お誘いあわせの上ぜひお越しください。

※校内には食堂・自動販売機はありませんので、午前・午後とも参加される場合は注意ください。

お問い合わせ　04-7144-7185（気象大学校）

講演者紹介

斉田 季実治 氏
「天気を読む、未来を守る― 天気予報の舞台裏と気象を学ぶ魅力 ―」



毎日の天気予報は、どのように作られ、私たちに届けられているのでしょうか。テレビの気象情報の舞台裏や、台風・大雨などの災害から命を守るための情報の生かし方を紹介します。さらに、進化するAI予測や宇宙天気にも触れながら、気象を学ぶ面白さと未来の可能性をお伝えします。

（講師略歴）
1975年生まれ、熊本県出身。北海道大学水産学部卒業。在学中に気象予報士資格を取得。報道記者を経て、2006年からNHKの気象キャスターを務める。現在は「ニュースウオッチ9」に出演。気象予報士・気象防災アドバイザーとして、防災情報を人々の判断や行動につなげる活動に取り組む。株式会社ヒンメル・コンサルティング代表取締役。

下山 利浩　教授

「地震の話　―地震は点で無い！？―」
地震の震源位置は×印などの点で表現されます。一方で、地震では断層の話も出てきます。この関係性から、地震とは何か、気象庁の発表する地震関係情報について紹介します。

川合 秀明　准教授

「下層雲が減って、地球温暖化が加速する！？」
地球温暖化が進んでいますが、将来、低いところにある雲が減って地球温暖化がさらに加速しそうなことが最近の研究でわかってきました。そのメカニズムをわかりやすく説明します。

平川 裕己　講師

「その禁止マーク，ズレてます―見慣れた看板から考える人文学― 」
見慣れた禁止マークには，実は様々なズレがあります。それでも難なく通じ合う私たちの柔軟さから，人文学の面白さを考えます。



JR常磐線・東武アーバンパークライン「柏駅」下車
■柏駅西口から徒歩約15分
■バスご利用の場合
柏駅西口1番のりば「免許センター・流山駅東口」行き（柏06系統）
または「免許センター」行き（柏16系統）
「気象大学前」下車

午前の部参加学生サークル
09:05～12:00　Balloon Beads Books（会議室）
09:05～10:05　軽音楽部（講堂）
10:20～10:45　リコーダーアンサンブル（講堂）
10:45～12:00　室内楽同好会（講堂）

気象大学校へのアクセス
（Googleマップ）

気象大学校HP